

授業改善推進プラン＜特別活動＞

1 指導目標

- ・ **望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸張を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。**
- ・ 学級活動においては、学級や学校生活への適応を図るとともに、社会の一員としての自覚と責任の意識を高めながら学校生活の充実を図る。
- ・ 生徒会活動を通して、自立的な活動の意識を高め、自ら行動できる力を育成し、よりよい集団生活を築いていく実践的な態度を育成する。
- ・ 学校行事を通して、一人一人に成就感を味わわせ、感動できる体験活動を作り上げる力を育成する。
- ・ 全校生徒加盟の青少年赤十字の理念をふまえ、地域清掃等のボランティア活動に取り組む生徒を育成する。

2 平成25年度における考察と課題

- ・ 生徒会は、あいさつ運動、社会を明るくする運動などをはじめ、学校説明会で学校紹介スライドの工夫、朝礼・生徒朝会の司会・進行など多岐にわたり学校の活動に参加し、存在感と信頼を集めている。また、毎月の一斉委員会の後には中央委員会を開き、各委員会の情報交換を行っている。
- ・ 委員会は保健給食委員会の健康や食育などの環境改善についてクラスで訴えたり、ポスターでアピールし、美化委員会によるクリーナー清掃など、各委員会は地道な取り組みを継続し、一定の成果を収めてきた。
- ・ 運動会や合唱コンクール等の学校行事では、**実行委員会を立ち上げ、クラスの実行委員を中心に取り組み、一人一人がクラスでよい成果を残すために自主的に取り組む姿勢が見られた。また、学校行事に取り組む活動を通してリーダーの育成や上級生と下級生の交流を通じてより良い関係を創り出すようにしてきた。**

3 平成26年度へ向けての改善のポイント

- ・ **生徒の安全面を配慮した上で、積極的に学校を公開し、オープンスペースの有効活用を引き続き行い、保護者や地域の方々が参観に来やすい環境を整え、より多くの方々に学校活動への理解を深めていただき協力をしていただけるように工夫していく。**
- ・ **地域との交流を積極的に図り、職業講話などで人材を活用していく活動を推進していく。**
- ・ 運動会や合唱コンクール等の学校行事では、**実行委員会を中心に上級生と下級生の交流を継続していく。**
- ・ 授業時数の確保と準備期間を含めた学校行事のあり方や工夫を全教員で検討し続ける必要がある。
- ・ 各委員会同士が連携し取り組んで活動することができるように工夫していく。